

公益財団法人宇都宮市医療保健事業団 中期経営計画評価表（平成27年度実績）

平成28年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市竹林町968番地		設立年月	昭和57年2月	
市所管課	保健福祉部 保健所総務課		代表者	理事長 片山 辰郎	
ホームページアドレス	http://www.umth.or.jp/				
基本財産（資本金）	10,000千円	主な出資者		出資額	出資割合
		（一社）宇都宮市医師会		3,000千円	30.0%
		（一社）宇都宮市歯科医師会		1,500千円	15.0%
市出資額	5,000千円	（一社）宇都宮市薬剤師会		500千円	5.0%
市出資割合	50.0%				
設立目的等	宇都宮市及び近隣の救急医療体制を確立するとともに、地域住民の健康維持・増進事業の推進及び地域医療従事者の養成を行うことにより、地域医療の発展に寄与すること				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 初期救急医療事業（夜間休日救急診療所事業） 地域住民の健康維持・増進事業（健診事業等） 地域医療従事者養成事業（准看護師養成事業・歯科衛生士養成事業） 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	95.0%				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員 （フルタイム）	0	0	嘱託職員	7	2
非常勤	理事	9	0	派遣等 職員	市	0	0	臨時職員等 （アルバイト等 含む）	0	0
	市以外	0	0							
	監事	2	0	市OB職員	0	0				
	計	12	1	計	50	0	計	7	2	
役員の平均年齢（歳）	63.0	役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無				0	
職員の平均年齢（歳）	41.6	職員の平均年収（千円）	5,569		個人情報保護体制の有無				0	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	備考
資産	1,479,493	
負債	479,828	
（うち損失補償等額）	0	
純資産	999,665	
（うち利益剰余金）	960,497	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	備考
総収入	1,488,006	
（うち市補助金等）	83,402	
（うち市委託料等）	110,795	
経常損益	14,634	
当期損益	15,590	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮市医療保健事業団】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度				
1	健診事業の充実	健診受診者件数 (H31) 105,000件	105,274件	107,213件				
2	普及・啓発活動の充実	健康教室など啓発事業の充実	59回実施	71回実施				

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度				
3	初期救急医療事業の適切な運営	現状維持	実施	実施				
4	地域医療従事者の着実な育成	資格取得 准看護師40人/年 歯科衛生士50人/年	資格取得 准看護師 36人/年 歯科衛生士 42人/年	資格取得 准看護師 34人/年 歯科衛生士 47人/年				

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度				
5 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	組織体制の再編・強化，事業の見直し等を踏まえた適正化	実施	実施				
6 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	効果的・効率的な施設運営による事業費の適正化	実施	実施				

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度				
7 (共)	常勤役職員数の適正化	効果的・効率的に組織及び事業を運営するための人員配置を踏まえた役職員数の適正化	52人体制	実施				
8	職員の資質の向上	職員研修の充実	実施	実施				

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度				
9	魅力ある情報の提供	提供する情報内容の充実	検討・充実	検討・充実				

Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】 いずれの取組についても積極的に取り組み、良好な結果となった。厳しい社会経済状況の中でも、宇都宮市及び近隣住民への初期救急医療の提供、健康の維持・増進、また、医療従事者を地域の医療機関へ輩出するなど、公益目的事業をおおむね順調に推進し、地域医療の発展に寄与した。 公益目的事業を推進する上で欠かせない医師等の医療従事者の確保に大変苦慮した。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自立した事業運営に向けた職員の更なる資質の向上・ 経営の安定を図るための健診受診者の拡大・ 医療従事者を着実に養成できるよう、安定的な生徒の確保
所管課による 評価	<p>【評価】 いずれの取組についても、おおむね順調に推進されているが、主体的な事業運営や経営の自立性の確保のため、引き続き、公益目的事業の更なる充実及び経営の更なる強化に努める必要がある。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公益財団法人として地域医療の発展に更に寄与するよう、公益目的事業の一層の充実・ 安定的な運営を確保するよう、より効果的・効率的な事業運営及び職員の更なる能力向上